

活力ある未来への第一歩

厳粛に匝瑳市合併記念式典挙行



厳粛に執り行われた匝瑳市合併記念式典

今年1月23日、旧八日市場市と旧野栄町が合併して誕生した匝瑳市。これを記念する匝瑳市合併記念式典が小雨降る5月14日(日)、八日市場ドームに約600人の招待者を迎え、盛大にかつ厳粛に行われました。

式典は、総務大臣代理で総務省・岩田知也氏、千葉県知事・堂本暁子氏、衆議院議員・林幹雄氏ほかの来賓が壇上に並び、伊藤正勝助役による開会、国歌斉唱、市長式辞(下に要旨掲載)、市議会議長あいさつ、来賓祝辞と続きました。祝辞の中で堂本知事は「今、それぞれの地域が自立し個性を発揮するための合併が進んでいます。それはそれぞれの自治体がつけていかなければならない時です。合併により創造的な変革を成し遂げ、新匝瑳市をこれからの時代に即した市へと育ててください」と関係者を激励しました。続いて、合併功労者への総務大臣表彰、市長感謝状贈呈など各種表彰が行われ、公募した市章デザインへの応募作品の中で最優秀作品に選ばれた、岡山県在住の合田(ごうだ)さち男さ

市長式辞(要旨)

平成18年1月23日、八日市場市と野栄町が合併し、人口4万2千余、面積101・78km「匝瑳市」が誕生いたしました。

旧来から生活圏を共にし、つながりの深い、八日市場市と野栄町の合併が最良であるとの住民の声を受け、議会のご同意をいただき、平成16年8月、八日市場市・野栄町合併協議会が設置され、真摯(しんし)な協議が行われてまいりました。

この合併を迎えるまでの間、特段のご尽力を賜りました関係各位に深く感謝いたしますとともに、温かいご支援を賜りました両市町の住民の皆様にご心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、地方行政を取り巻く環境はますます厳しさを増す中、多様化する住民要望への早急な対応が求められております。

新市では、まちづくりの将来像「海・みどり・ひとがはぐくむ活力あるまち」にふさわしい五つの基本目標を設定し、その実現を目指したまちづくりを進めてまいります。

一つ、「生きがい」に満ち、笑顔があふれるまちをつくる」二つ、「活力に満ち、はつらつとしたまちをつくる」三つ、「自然と共生し、快適で安全なまちをつくる」四つ、「個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる」五つ、「住民と行政が連携・協働するまちをつくる」であります。今後は、豊かな自然環境を生かし、そして、歴史と文化を融合させながら、伝統産業と新しい産業を連携させて活性化を図りながら、生活環境や福祉が充実した、多彩な魅力を持つ、活力ある「匝瑳市」を市民の皆様とともに創造したいと考えております。

私は、旧八日市場市と旧野栄町が合併して誕生した新生「匝瑳市」の未来に使命感と責任を感じています。

そして、市民の幸せのために選択した合併の成功は、これからの行政施策にかかっており、市民の幸せと合併の成功は一体のものであります。

市民の皆様は、「合併してよかった」と実感していただけるよう、そして、その目的である「市民の幸せ」のために、今後とも、全力を傾注して、誠心誠意取り組む所存でございます。

んデザイン市の市章が「匠瑳市市章」として制定されました。また、「新市のまちづくり」作文で最優秀賞に輝いた「市と町のたしさん」を、作者の佐々木翼くん（平和小2年）が朗読し、最後に国歌斉唱の伴奏も務めた弦楽合奏グループ「UFO」と、和太鼓演奏グループ「のさか太鼓」が記念コンサートを行い式典の最後を飾りました。

表彰者は次のとおりです。なお、市章、「新市のまちづくり」作文・絵画については4〜5ページをご覧ください。

合併功労者総務大臣表彰

（敬称略）

江波戸 辰夫・旧八日市場市長
 伊藤 正勝・旧野栄町長
 行木 勲・旧八日市場市議会議長
 伊東 孝・旧野栄町議会議長
 及川 重良・旧野栄町議会議長

合併功労者市長感謝状

（敬称略）

江波戸 勝男、熱田 孝雄、
 佐藤 浩巳、佐瀬 公夫、
 佐藤 悟、江波戸 友美、
 浅野 勝義、越川 竹晴、
 江波戸 義治、長谷川 正勝、
 高見世 留吉、花澤 美子、
 布施 保、平山 延樹、
 鈴木 健弘、椎名 政子、
 伊藤 幸夫、荒井 昌克



祝辞を述べる堂本知事



式辞を述べる江波戸市長



作文の朗読をする佐々木翼くん



合併を祝い出席された方々



しっとりとした演奏で聴衆を魅了したUFO

◀威勢のいい演奏で会場を盛り上げたのさか太鼓